

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

新任・帰任・入職紹介

みなさまお久しぶりです。麻酔科の日比野世光(ひびのときみつ)です。沖縄県から奨学金を貸与していた関係で、2016年7月から1年間石垣島の沖縄県立八重山病院で勤務してきました。八重山病院での麻酔業務は、限られた医療資源の中で医療を行うため、麻酔法や使用薬剤も限られたものでした。普段は全身麻酔をしていた手術を脊髄麻酔やブロックでするため、それぞれの手技の正確さが求められます。そのため、一例一例丁寧に麻酔をしてきました。患者さんの苦痛をしっかりと取り除きつつ、より安価な薬剤で、より安価な麻酔でやっていけるよう、沖縄協同病院でも頑張っていきたいと思っております。またよろしくお願致します。



麻酔科
日比野世光
ひびのときみつ

帰任医師

こんにちは。リハビリテーション科の喜久村かおり(きくむら)です。1年ちよとぶりに沖縄協同病院へ戻ってまいりました。1年の間に協同病院にもたくさんの変化があり、戸惑うと同時に多くの病院スタッフの方に声をかけていただき、温かさを感じて毎日です。これから奥村先生の下、増田先生と共にリハビリ科医として研鑽を積み、専門医をとることを目標に頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。



リハビリテーション科
喜久村かおり
きくむら

新入職医師

産婦人科として7月から勤務させて頂いています。大村更紗(おむらさら)です。9年前に当院での初期研修を行い、産婦人科の専門医を取得して7年ぶりに沖縄協同病院に戻ってきました。6月までは南部医療センター、こども医療センターで勤務していました。初期研修医時代にお世話になった先生方やナースの皆さん、廊下などですれ違ふときにお声をかけていただき、うれしく思っています。当院で今までの知識経験を還元できればと思っています。今後ともよろしくお願致します。



産婦人科
大村更紗
おむらさら



ICU・HCU
師長
玉城誠
たましろまこと

新役職者

みなさんこんにちは！7月3日よりICU・HCU病棟へ異動となりました玉城誠(たましろまこと)です。これまで、沖協6階病棟で師長として働かせて頂きました。それを振り返って、仕事が順調な時ほど関係するスタッフの支えが大きく、助けてもらっていたことを実感、感謝しています。今は知識不足を実感、「で〜じなと〜ん」な気持ちです。ですが、あせつても急に変身はできません。ICUでもスタッフを頼り助けてもらいながら前に進んでいきます。これからよろしくお願致します。



6階病棟
師長
町田智香
まちだちか

みなさまこんにちは。このたび沖縄協同病院6階病棟看護師長になりました町田智香(まちだちか)です。看護学校卒業後は県立病院で3年間勤務し、沖協協同病院に入職しました。入職当初は健診室で勤務、その後6階病棟へ異動しました。また心臓リハビリテーションにも携わってきました。現在私は子育て真最中です。子育てしながらも楽しく働ける職場づくりを目指しています。管理者としてまだまだ未熟ですが今後ともよろしくお願致します。

高校生看護一日体験



病院の活動状況 <2017年6月度>

- ・外来一日平均患者数：302 (前年同月比 -165人)
- ・入院一日平均患者数：305 (前年同月比 +6人)
- ・組合員利用率：56.2% (前年同月比 -0.7%)

糖尿病の運動療法について

131 リハビリテーション科より



当院では、糖尿病教育入院を実施しており、五日間の入院期間の中で糖尿病を改善しようとする教育プログラムです。そのプログラムでは医師、看護師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士らによる講義や学習会、実技などが組み込まれています。この教育入院の中で、少しでも糖尿病に興味や知識を持つて頂き、ご自身で改善を目指すのが目的です。「治してもらっ！」ではなく、「自分で治す!!」という意識を持ってもらえたら幸いです。

さて、六月号の「はいさい」で認定看護師の赤嶺さんが糖尿病の大きな治療は、「食事療法」と「運動療法」という事をお話され、その中でも「栄養指導」について話をされていました。今回はもう一つの治療である、「運動療法」について話をさせて頂きます。

一口に運動療法といっても様々で、水泳やランニング、自転車など比較的激しい運動から、ストレッチやウォーキング、筋力トレーニングなどの容易に行える運動まで色々あります。当院では特に、負荷が少なく自分で負荷をコントロールしやすい運動を勧められています。しかし、容易に行える運動だからといって頑張りすぎる方もいらっしゃいます。低負荷である、ウォーキングもやり過ぎたり、間違った方法で長時間行うとママやタコ、靴擦れがおき、かえって運動が行えなくなる事もあります。

予防としては、毎日足の状態をチェックする事や、靴のサイズが合っているか確認するなどの方法があります。運動負荷に関しては一日の歩数を決める事もお勧めです。日常生活+二千歩、もしくは一日八千歩を目安に歩かれるといいかもしれません。

継続した運動はとても大切な事です。が、現在行っている運動を今一度見直し、安全で快適な運動を続けて頂けたらと思います。

リハビリ室 理学療法士 渡慶次 啓

憲法Caféキックオフ学習会開催

沖縄協同病院では、7月5日(水)に約1時間、『憲法Cafeキックオフ学習会』を開催しました。学習会では、伊藤真弁護士との講演会ダイジェスト版30分を視聴し、憲法Caféを全部署で取組むことが提起されました。これから当院全部署で憲法Caféに取組んでいきます。参加者感想では「憲法のことについてわかっていつもりでしたが、知らなかったことが多かったと気付いた。」との感想が寄せられました。取付きにくく難しいイメージの“憲法”ですが、考える時間をつくることで少しずつでも新しい発見や気づきが出てきます。また、安倍政権が推し進める改憲の中身について学ぶことも大切ですが、日本国憲法が果たしている役割を再認識すること。そして、憲法は国民が国家に守らせるものという“そもそも”を知ることも大切だと感じました。



学習資料として「MIN-IREN憲法Café」が分かりやすく好評です。当院外来エリアで自由に取れるようにしていますので、ぜひ一度お読み下さい。

事務次長 後藤勝治



<ご意見・ご要望>

診察室に看護師さんは立たないでください。先生に相談したいことがあってもやりにくいです。

<ご返事>

外来において、医師と患者さんとの橋渡し、患者さんの理解度の確認、検査の説明など必要ある業務だと考え、担当者を配置しております。

特別に医師に相談などある場合は、遠慮なく患者さんご自身から申し出て頂けたらと思います。

外来師長 中村光江

旧盆(ウークイ) 外来休診のお知らせ

9月5日(水)は、旧盆(ウークイ)の為、一般外来は朝から全て休診となり通常診療は行いませんので、ご了承をお願いします。

なお、救急診療は24時間受け付けております。

産婦人科外来体制表

○2017年8月17日から外来体制が変更になります。

2017年7月18日

	月	火	水	木	金	土
午前		(1・2週) 與那嶺尚絵				(1・3週) 嘉陽真美
前診	大村更紗	(3・4週) 嘉陽真美	嘉陽真美	伊良波肇	與那嶺尚絵	(2・4週) 稲福盛弘
		(5週交代)				(5週交代)
午後			産後健診 交代	助産外来	母乳外来	
後診	助産外来	助産外来				

《診療開始時間・受付終了時間》

午前:9:00~11:00 午後:2:00~4:00

◆体制は急に変更になることもあります、事前にお問い合わせください。

問い合わせ先 病院代表 TEL 098-853-1200

※問い合わせは午前11時30分以降をお願いします。



思い出のバラ

画・内科医 上原 和博



「かいよう病」にかかっているという。連作障害とは、同じ作物(特にナス科、ウリ科)を作り続けることによって、その作物に必要な栄養分が欠乏したり、その作物をターゲットにする病害虫や細菌が増殖して成長が悪くなったり、病気になることである。病気を治すには、殺菌剤を撒くしかないが土壌全体に細菌が蔓延しているので防ぎようがない。結果的には半分近くが枯れてしまった。今までの小さな兆候を見逃していたのだらう。十五年分の連作障害が一気に出てきたようだ。そのままでは来年も同じことになるのは確実だ。それと避ける簡単な方法は、数年は別の作物を作るか太陽熱土壌消毒をするかである。トマトを作りたいので後者を実施した。牛糞、土壌改良剤、米ぬかをすきこんで、表面をビニールで密封し、太陽熱で害虫を死滅させるのである。

さて、政治の世界でも連作障害が起きているようだ。森友・加計・稲田問題等、「うそつき」という病害虫が隠れているため、問題が一向に解決しない。解決するには政権交代が徹底的に病害虫を探し出して真実を国民に知らせることがしかない。

ハルサー 金城稲子

ハルサー だより

連作障害

十五年ほど前から母のトマト作りを手伝ってきたが、今年是最悪だった。去年の十月に八百本(百五十坪)の苗を植えて枯れていくのである。聞けば、連作障害の一つである「かいよう病」にかかっているという。